

## 教員対象

No.	保護者に対する質問内容	肯定	やや肯定	どちらでもない	やや否定	否定	回答不能	R5肯定率(%)
1	授業では、普段の生活のことや社会での問題・話題になっていることを材料に学べるようにしている子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を自分でよりよくするためにできることが増えている。	2	19	3	3	0	2	72.4
2	授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている	4	17	7	0	0	1	72.4
3	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている	2	20	6	0	0	1	75.9
4	授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組めるようにしている	11	13	3	1	0	1	82.8
5	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている	4	16	8	0	0	1	69.0
6	授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている	8	17	3	0	0	1	86.2
7	授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている	11	16	1	0	0	1	93.1
8	授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている	11	15	2	0	0	1	89.7
9	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確かめながら決められるようにしている	7	17	3	0	0	2	82.8
10	学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている	4	16	4	1	2	2	69.0
11	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している	2	16	9	0	0	2	62.1
12	児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	3	19	6	1	0	0	75.9
13	連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	0	16	10	3	0	0	55.2
14	教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている	8	15	4	2	0	0	79.3
15	子どもと向き合う時間が確保できている	5	12	7	4	1	0	58.6
16	タイムマネジメントを意識して勤務できている	5	8	6	9	1	0	44.8
17	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる	8	15	4	1	1	0	79.3
18	誇りややりがいをもって仕事を行うことができている	6	15	6	1	0	1	72.4
19	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている	4	9	10	3	2	1	44.8
20	スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている	16	10	2	0	0	1	89.7
21	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	2	21	3	2	0	1	79.3
22	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている	3	18	5	3	0	0	72.4
23	授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできるようにしている	4	14	9	1	0	1	62.1
24	幼保小連携の必要性について全職員の共通理解を図るなど、学校全体で幼保小連携の取組が積極的に進められている	5	18	5	1	0	0	79.3